

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【公開番号】特開2017-12821(P2017-12821A)

【公開日】平成29年1月19日(2017.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2017-003

【出願番号】特願2016-182909(P2016-182909)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月20日(2017.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動条件の成立により、遊技者に有利な特別遊技に当選したか否かを判定する判定手段と、

前記特別遊技に当選したと判定された場合、遊技領域に設けられた特別入賞口に規定個数の遊技球が入球するまで前記特別入賞口に遊技球が入球し易い状態が継続可能な開放遊技を含む前記特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

前記特別遊技が実行されているときに、当該特別遊技に応じた特別遊技演出を、第 1 の演出手段と第 2 の演出手段とを含む演出手段に行わせることが可能な演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記特別入賞口に前記規定個数を超えて遊技球が入球した場合、当該入球に応じた入球演出を前記第 1 の演出手段と前記第 2 の演出手段とに行わせ、

前記特別遊技演出として所定演出を行わせているときに前記規定個数を超えて遊技球が入球した場合、前記第 1 の演出手段に前記入球演出を行わせ、前記第 2 の演出手段の前記入球演出を規制し、

前記特別遊技演出を実行中に所定のエラー報知演出が行われているときに前記規定個数を超えて遊技球が入球した場合、前記第 1 の演出手段及び第 2 の演出手段による前記入球演出を規制することを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、上述の課題を解決するためになされたものであり、以下の形態により実現することが可能である。

第 1 の形態の遊技機は、始動条件の成立により、遊技者に有利な特別遊技に当選したか否かを判定する判定手段と、前記特別遊技に当選したと判定された場合、遊技領域に設けられた特別入賞口に規定個数の遊技球が入球するまで前記特別入賞口に遊技球が入球し易

い状態が継続可能な開放遊技を含む前記特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、前記特別遊技が実行されているときに、当該特別遊技に応じた特別遊技演出を、第１の演出手段と第２の演出手段とを含む演出手段に行わせることが可能な演出制御手段と、を備え、前記演出制御手段は、前記特別入賞口に前記規定個数を超えて遊技球が入球した場合、当該入球に応じた入球演出を前記第１の演出手段と前記第２の演出手段とに行わせ、前記特別遊技演出として所定演出を行わせているときに前記規定個数を超えて遊技球が入球した場合、前記第１の演出手段に前記入球演出を行わせ、前記第２の演出手段の前記入球演出を規制し、前記特別遊技演出を実行中に所定のエラー報知演出が行われているときに前記規定個数を超えて遊技球が入球した場合、前記第１の演出手段及び第２の演出手段による前記入球演出を規制することを特徴とする。